

第39回教育研究評議会議事録

I 日時 平成19年3月15日(木) 14時00分～16時10分

II 会場 5階大会議室

III 出席者 議長 岩崎学長
評議員 工藤、瀧田、泉、腰塚、吉武、谷川、高橋、江口、水林、熊谷、井上、
高松、中山(伸)、山田、林、中山(凱)、野村、西川、石井、植松、
板野、宇川、太田、岡本、辻中、長澤、深水、守屋
代理出席 坪井美樹、北脇信彦、赤座英之

IV 配付資料

第38回教育研究評議会議事録(案)	[審議資料1]
筑波大学大学院学則の一部改正について	[審議資料2]
平成20年度学群入学者選抜に係る基本的事項について	[審議資料3]
教育及び学生生活に関する会議の見直しについて	[審議資料4]
「障害学生支援室」の設置について	[審議資料5]
学生生活支援組織について	[審議資料6-1]
「学生プラザ(Student Plaza)」の設置について(案)	[審議資料6-2]
「心身障害学系」の「障害科学系」への名称変更について(案)	[審議資料7]
北アフリカ研究センターの全学センター化について(案)	[審議資料8]
筑波大学に任用される研究員の職名の統一について(案)	[審議資料9]
大学教員業績評価の試行の実施について	[審議資料10]
平成19年度年度計画案	[審議資料11]
大学機関別認証評価の実施時期等について	[審議資料12]
筑波大学情報環境機構の設置について	[審議資料13]
役職教員の選考について	[報告資料1]
「大学院共通科目」の導入について(概要)	[報告資料2]
職員及び学生の表彰について	[報告資料3]
学生表彰候補者一覧	[報告資料4]
平成19年度受験生のための筑波大学説明会日程	[報告資料5]
「再チャレンジ支援プログラム」の採択に伴う授業料免除 関係規程の改正について(報告)	[報告資料6]
教育研究評価における現況分析の単位について	[報告資料7]
(国土交通省)国土技術政策総合研究所との包括的連携・協力 協定の締結について(案件概要)	[報告資料8]
静脈認証システムの今後の運用について	[報告資料9]
事務職員の人事異動の実施時期について	[報告資料10]
社団法人国立大学協会第9回通常総会関係資料	[報告資料11]
システム情報工学研究科自動体外式除細動器:AEDの設置	[追加資料]
第6回つくばWANシンポジウムの開催について	[追加資料]
本学職員の懲戒処分について	[席上配付資料]

議事に先立ち、岩崎学長から、席上配付資料に基づき、不正行為を行った事務職員を懲戒処分として解雇した旨発表があり、本学において不正行為が発生したことに対して遺憾の意が表された。

次いで、教員研究組織及び事務組織の双方において適正な業務遂行を徹底し再発防止に努めるとともに、明るく透明性のある職場づくりに努めるよう指示があった。

V 議事

〔審議〕

1 第38回教育研究評議会議事録の確認について

第38回教育研究評議会議事録（案）は原案どおり承認された。

2 法人規則の制定について

工藤副学長から、審議資料2に基づき、国立大学法人筑波大学学群学則の一部改正の概要及び改正案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3 平成20年度学群入学者選抜に係る基本的事項について

工藤副学長から、審議資料3に基づき、平成20年度学群入学者選抜に係る基本的事項として、学群入学者選抜の種類、募集人員及びアドミッションポリシー等について説明があった。

審議の結果、アドミッションポリシーについては、組織ごとに表記が異なるため、大学全体としての統一性等について引き続き検討していくこととし、その他の基本的事項について承認された。

4 教育及び学生生活に関する会議の見直しについて

工藤副学長から、審議資料4に基づき、「学群・学類連絡会議」を「学群教育会議」に、「大学院連絡会議」を「大学院教育会議」に改称するとともに、「審議、決定」の機能を持たせることとしたい旨の提案、並びに今後の運用方針、学群教育会議及び大学院教員会議における付議事項等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5 障害学生支援室の設置について

工藤副学長から、審議資料5に基づき、「障害学生支援委員会」を廃止し、新たに「障害学生支援室」を設置すること、並びに設置形態及び設置後の支援体制のあり方等の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 学生生活支援組織及びスチューデントプラザ（Student Plaza）の設置について

高橋副学長から、審議資料6-1に基づき、学生担当教員会議及び学生生活支援室の位置付け等、今後の学生生活支援組織の構想概要について説明があった。

審議の結果、当該資料中「学生生活支援関係組織図」の「学群教育運営会議」を「学群教育会議」に、また、「大学院教育運営会議」を「大学院教育会議」に修正することとしたうえで承認された。

次いで、同副学長から、審議資料6-2に基づき、学生生活や就職活動に関する総合的な学生支援を行う窓口（場所）の総称をスチューデントプラザ（Student Plaza）とすること、及びその具体的な役割等について説明があった。

審議の結果、当該資料における本プラザの設置場所の表記を「第1学群D棟」から「1D棟」に修正することとしたうえで承認された。

7 学系名称の変更について

吉武副学長から、審議資料7に基づき、「心身障害学系」の「障害科学系」への名称変更の概要について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

8 北アフリカ研究センターの全学センター化について

吉武副学長から、審議資料8に基づき、本件に係るこれまでの経緯、全学センター化の目的等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

9 本学に任用される研究員の職名の統一について

腰塚副学長から、審議資料9に基づき、現在、煩雑でわかりにくくなっている研究員の職名を、「研究員」に統一することとしたい旨の説明があった。

次いで、新たな研究員制度の概要及び国立大学法人筑波大学が任用する研究員に関する規程案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

10 大学教員業績評価の試行の実施について

吉武副学長から、審議資料10に基づき、大学教員の評価について、平成19年度に同評価の試行を実施するとともに、教員業績評価システムを構築することとしたい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

関連して、宇川計算科学研究センター長から、教員の活動の大部分がセンターで行われる場合、そのことが評価に適切に反映されるようにしてほしい旨の意見があり、同副学長から、4月～6月の準備段階で丁寧に対応することとしたい旨の発言があった。

また、赤座副病院長から、どの領域が高く評価されるかなどの評価指針を明確にして欲しい旨の発言があり、同副学長から、教員は自分の力を入れている分野について積極的にアピールすること、また、部局等の評価委員会もそれを適切に評価するシステムをつくるのが大切である旨の発言があった。

板野学術情報メディアセンター長から、同センターに勤務する教員のように、教育研究よりもセンター業務に従事することが多い場合の評価について質疑があり、同副学長から、学内運営の評価項目を活用して評価を行って欲しい旨の発言があった。

長澤臨床医学系長から、筑波大学研究者情報システム(TRIOS)の入力フォームについて、教員の活動の現状に即した入力しやすいものに改善して欲しい旨の意見があった。

11 平成19年度年度計画について

吉武副学長から審議資料11に基づき、現段階での平成19年度年度計画案の概要について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

次いで、本評議会以降、修正が生じた場合は学長へ一任することが承認された。

12 大学機関別認証評価の実施時期について

吉武副学長から、審議資料12に基づき、大学機関別認証評価の実施時期を平成22年度として準備作業を推進する旨、選択的評価事項の評価を受けるか否かについては、平成19年度末までに決定することとする旨及び学内における今後の進め方について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

13 筑波大学情報環境機構の設置について

腰塚副学長から、審議資料13に基づき、これまでの検討経緯、設置の目的、及び同機構並びに構成組織の役割と業務について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

14 大学教員の懲戒に係る調査委員会の設置について

岩崎学長から、システム情報工学研究科長から大学教員に対する懲戒の発議がなされている旨、及び大学教員に対し懲戒処分を行う場合は、国立大学法人筑波大学本部等職員就業規則第97条に基づき、教育研究評議会の議を経ることと規定されている旨の説明があった。

次いで、熊谷システム情報工学研究科長から、懲戒処分の発議内容について説明があった。

引き続き、岩崎学長から、事実関係の確認と処分の適否及び処分の裁量案を作成するための調査委員会を設置したい旨、及び同委員会の構成委員として以下の5人を指名することとしたい旨の説明があり、審議の結果、承認された。

- ・ 腰塚武志副学長
- ・ 波多野澄雄人文社会科学部研究科長
- ・ 中山伸一図書館情報メディア研究科長
- ・ 山田宣夫第一学群長
- ・ 西川潔芸術専門学群長

なお、同委員会の委員長を腰塚武志副学長とすることが併せて承認された。

[報告]

1 役職教職員の選考について

岩崎学長から、報告資料1に基づき、前回の本評議会での報告以降に、研究科長等の内申に基づき選考を行った4月1日から新たに任期の始まる役職教員、及び平成19年度の全役職教員について報告があった。

2 大学院共通科目について

工藤副学長から、報告資料2に基づき、大学院教育の実質化の方針の具体化の一つである、大学院共通科目導入の目的及び大学院共通科目検討WGでの検討状況等について報告があった。

監事からのコメントとして、合志監事から、大学院教育に対する社会からの要望にどう応えるのかを検討する必要がある旨、また、企業は、大学院生の研究マネジメント力の向上を求めており、その点についても検討する必要がある旨の意見があった。

3 職員及び学生の表彰について

高橋副学長から、報告資料3に基づき、人命救助に尽力した本学職員及び学生に対する学長表彰の概要について報告があった。

4 学生表彰について

高橋副学長から、報告資料4に基づき、平成18年度の学生表彰者について報告があった。

関連して、同副学長から、今年度は、学生表彰の価値を高めるため被表彰者を厳選した

旨、また、今回、被表彰者に在学者が含まれていたことから、表彰の場のあり方等が検討課題である旨の発言があった。

5 平成19年度受験生のための筑波大学説明会日程について

工藤副学長から、報告資料5に基づき、同説明会の日程等について報告があった。
また、宮田学務部長から、第三学群棟の説明会場については、改修工事が行われるため、代替の会場を検討中である旨補足説明があった。

6 「再チャレンジ支援プログラム」の採択に伴う授業料免除関係規程の改正について

工藤副学長から、報告資料6に基づき、文部科学省「再チャレンジ支援プログラム」の採択に伴い、人間総合科学研究科看護科学専攻（修士課程）に在学する同プログラムの該当者に対する授業料免除を実施するために、国立大学法人筑波大学授業料の免除及び徴収猶予規程を一部改正した旨報告があった。

7 教育研究評価における現況分析の単位について

吉武副学長から報告資料7に基づき、教育研究評価における現況分析の単位について、教育面については学群及び研究科、また、研究面については研究科、学系及び計算科学研究センターを単位とすることを、本学の意向としたい旨の報告があった。

8 国土技術政策総合研究所との包括的連携・協力協定の締結について

吉武副学長から、報告資料8に基づき、本協定締結の目的、連携内容等について報告があり、同研究所と共同での研究等の希望があれば申し出て欲しい旨付言があった。

9 静脈認証システムの今後の運用について

泉副学長から、報告資料9に基づき、学生宿舎における本システムの今後の運用のあり方について、認証率の向上とそのために要する経費とを総合的に勘案し、4月以降も暗証番号方式を主体に運用し、希望者には本システムでの登録もできるようにすることとする旨報告があった。

10 事務職員の人事異動の実施時期について

腰塚副学長から、報告資料10に基づき、事務職員の人事異動は毎年度4月1日を中心に実施してきたが、職員の負担軽減や業務の効率化を図る観点から、今後は7月1日を中心に実施することとする旨の報告があった。

また、同副学長から、採用・昇任及び退職以外の事務職員の異動については、業務改善の観点からホームページに異動者名簿の掲載等を行うこと、及び学校教育法の改正に伴う大学教員の職名の変更について、助教授から准教授になる者に対しては、職名が変更になる旨をホームページ及び速報つくばに掲載するとともに、教員会議等で周知することにより、それぞれ辞令書の交付を省略する旨説明があった。

なお、助手から助教になる者に対しては辞令書を交付することとし、(旧)助手から(新)助手になる者に対しては辞令書の交付は行わない旨の説明があった。

11 国立大学協会総会について

岩崎学長から、報告資料11に基づき、3月8日開催の同総会の概要について説明があり、文部科学省との意見交換会では、同省から、経済財政諮問会議メンバーによる大学・

大学院改革に対する提言、国立大学の定員超過を抑制する仕組みの導入、及び中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領の原案等について報告があり、それらに基づいて意見交換が行われた旨の説明があった。

12 システム情報工学研究科自動体外式除細動器：AEDの設置について

熊谷システム情報工学研究科長から、追加資料に基づき、同研究科の予算により自動体外式除細動器（AED）を第3学群B棟2階に設置した旨の報告があった。

関連して、野村体育専門学群長から、学内に設置したAEDが緊急時に有効に活用されるように、全学的な講習会の実施等を検討して欲しい旨の発言があった。

13 第6回つくばWANシンポジウムの開催について

腰塚副学長から、追加資料に基づき、3月28日（水）に開催される同シンポジウムの概要について説明があった。

議事終了後、岩崎学長から、任期満了となる副学長、今年度で定年退職となる評議員及び異動等の事務部長の紹介があり、慰労の言葉が述べられた。

次回日程 4月19日（木）14：00～ 5階大会議室

以 上